

医師・地域連携 子ども支援助成 —子どものこえからはじまるアドボカシー活動—



川野小児医学奨学財団は子どもたちの健やかな成長を願い、1989年から小児医学の支援に取り組んでいます。日々の活動の中で感じたのは、子どもをとりまく問題の解決には社会全体の力が必要だということ。そこで今回、子どものこえの代弁者として医師が地域と共に行う活動を支援することを決めました。

対象活動

- (1) 小児科医および子どもにかかわる医師が、その専門職の活動の中で得た「子どものこえ」を通じて明確化した、子どもの身体的、心理的、社会的な問題の解決を目的とする活動であること
- (2) 小児科医および子どもにかかわる医師が、地域と協働して取り組む活動であること

※上記の医師は日本国内の医療機関に所属しているものとします

※活動は、日本国内で行われる、非営利かつ公益性の高い、具体的なものを対象とします

応募資格

- (1) 活動を行う母体が2名以上で構成され、代表者、副代表者を立てること
- (2) 代表者および副代表者のいずれも小児科医もしくは子どもにかかわる医師であること
- (3) 推薦者として認められる者からの推薦を受けていること
- (4) 申請する活動に関わる構成員が反社会勢力等に該当しないこと

お問合せ先

公益財団法人 川野小児医学奨学財団 事務局

TEL 049-247-1717 (平日 10:00 ~ 16:00)

Mail info@kawanozaidan.or.jp

助成内容

1件70万円を上限(助成期間1.5事業年度)

伴走支援(協働や学びあいが生まれる機会の提供など)

応募受付期間

2025年6月2日～7月15日

応募方法

当財団ウェブサイトの「子ども支援助成申請フォーム」に必要事項を記入のうえ、次の書類を同フォームよりアップロードする

- (1) 申請書
- (2) 補足資料(任意)



詳細はこちらから

よくあるご質問

Q. 申請者（代表者・副代表者）は異なる組織に所属していても問題ないですか？

A. 異なる所属先でも問題ありません

Q. 団体として応募したいのですが、法人格は必要ですか？

A. 法人格の有無は問いません

Q. 地域と協働する活動とありますが、地域とは何を指しますか？

A. 地域とは、学校、行政、自治会、NPO（非営利組織）などを指します

Q. 医師のみで行う活動は対象となるのでしょうか？

A. 本助成事業は他職種と連携して行う活動を対象としています。医師のみで完結する活動は対象外です

Q. 助成の対象となる経費はどのようなもののでしょうか？

A. 活動に直接必要となる以下の経費が対象となります

消耗品費：筆記用具、コピー紙など／旅費：交通費、宿泊費など／謝金：講演料など

委託費：自団体では実施不可能な作業費／通信運搬費：郵便物の送料など／印刷製本費：印刷代

会議費：会場の利用料など

スケジュール（予定）

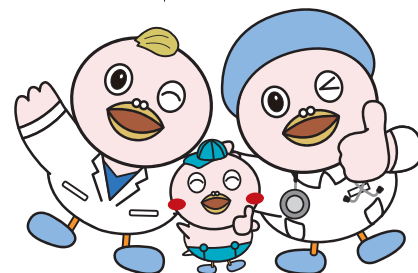


当財団について

この財団は、理事長である川野幸夫（株式会社ヤオコー代表取締役会長）が息子を病気で亡くした経験から、小児医学の進歩を支えていくため、1989年に設立しました。

財 団 名 公益財団法人川野小児医学奨学財団
設 立 年 1989 年
理 事 長 川野幸夫（株式会社ヤオコー代表取締役会長）
事業内容 研究助成／奨学金給付／小児医学川野賞／医学会助成
小児医療施設支援／ドクターによる出前セミナー
所 在 地 〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 1-10-1
T E L 049-247-1717
M a i l info@kawanozaidan.or.jp
U R L https://kawanozaidan.or.jp/

子どもたちの健康を守るために
小児医学に関わる皆様に
応援しています！



ヤッポーファミリー

（ヤッポーはヤオコーの公式キャラクターです）